

耐食・耐熱・耐摩耗性を付与する軽金属表面処理技術 ヘンケルジャパン、機能性コーティングフェアにて アルミ・チタン表面処理技術を展示

ドイツの化学・消費財メーカー ヘンケルの日本法人ヘンケルジャパン株式会社(本社:東京都品川区 社長:金井 博之)のジェネラルインダストリー事業本部は、「機能性コーティングフェア」(日時:2017年12月5日 会場:マイドームおおさか)に出展します。ヘンケルジャパンブースでは、アルミやチタンなどの軽金属向けコーティング技術「ECC(エレクトロ セラミック コーティング)」を中心に展示いたします。

■軽金属表面処理技術 ECC とは

ヘンケルが特許を有するプラズマ電解析出法で、軽金属に耐食性、耐熱性、耐摩耗性、塗膜密着性などの機能性を付与するコーティング技術です。

アルミ/アルミ合金、チタン/チタン合金素材の筐体やパーツなどが対象で、特に厳しい環境にさらされる船舶や自動車などの駆動系部品、建築関連資材、精密機械部品などに適用されます。

ECC 適用例 ▶

 <p>各種輸送</p> <p>軽量化に伴うアルミの耐食性、密着性の向上</p>	 <p>小型エンジン部品</p> <p>スノーモービル、除雪機、芝刈り機、水上バイク、チェーンソー等過酷な外気環境にさらされるもの</p>	 <p>食品関係</p> <p>飲料充填機交換部品、調理器具、複層構造フライパン等</p>
 <p>建材・アウトドア用品・屋外構造物</p> <p>特に塩害の多い地域向け</p>	 <p>機械・家電部品</p> <p>エアコン室外機部品、コンプレッサー、熱交換器部品</p>	 <p>自動車エンジン部品</p> <p>高熱の排気に触れる部品など</p>

ヘンケルは、2013年に横浜アジア・パシフィック技術センターにECC処理のパイロット施設を開設し、最先端の設備と経験豊かな技術チームによって、総合的なエンジニアリングソリューションを提供しています。

<展示会概要>

機能性コーティングフェア

2017年12月5日(火) 10:00 ~ 17:30 マイドームおおさか2階~3階 参加費無料

ヘンケルジャパンブース番号:70(3階)

主催:大阪産業創造館(公益財団法人大阪市都市型産業振興センター)/公益財団法人大阪産業振興機構

概要:様々な表面技術を持つ企業が出展する、機能性コーティングの商談・展示会

ヘンケルジャパン展示品:ECC、アルマイト関連製品、ハイブリッド構造用接着剤

ヘンケルについて

ヘンケルはブランドとテクノロジーのグローバルリーダーとして、ランドリー&ホームケア、ビューティーケア、アドヒーズテクノロジー(接着技術)の3つの分野で事業展開をしています。ヘンケルは1876年の創立以来、コンシューマービジネスおよび産業分野において、Persil(パーシル)、Schwarzkopf(シュワルツコフ)、Loctite(ロックタイト)などに代表される有名なブランドの数々と共に、グローバルにおけるマーケットリーダーとしての地位を維持しています。ヘンケルの従業員数は50,000人超であり、2016年の売上高は187億ユーロ、調整後の営業利益は31.7億ユーロを計上しました。ヘンケルの優先株はドイツ株式指数DAXのリストに入っております。

ヘンケルジャパンホームページ: <http://www.henkel.co.jp>

ヘンケルジャパンフェイスブックページ: <http://www.facebook.com/HenkelJapan>

ヘンケルジャパン製造・メンテナンス向け接着剤 YouTube: <https://www.youtube.com/channel/UC6lba35W0tmOtjNMY2aY-A>

—本件に関するお問合せ先—
ヘンケルジャパン株式会社 接着技術事業部門
マーケティング部 担当:小林由紀
TEL:045-758-1869 e-mail:yuki.kobayashi@henkel.com